

【追悼】

追悼 Robert C. Mackenzie 博士

長年にわたり鉱物、とくに粘土鉱物の熱分析の分野で活躍されてきたRobert C. Mackenzie博士が、7月4日に永眠されました。80歳でした。博士は1920年に英国Western Seafieldでお生まれになり、1942年にthe University of Edinburghを化学のfirst class honoursで卒業後、1944年に気相反応の動力学研究で同学からPh.Dを得られました。その後、Aberdeenのthe Macaulay Institute for Soil Researchにお勤めになり、長く粘土鉱物学と熱分析研究に携わることになりました。Macaulay Instituteでは初め、粘土鉱物についてX線回折による研究に携わったとうかがっています。1948年には土壌の物理化学研究に関わるいくつかのセクションをつくれ、1959年にそれらセクションをDepartment of Pedologyに統合し、1983年に退職されるまで最高責任者の立場におられました。この時期、粘土鉱物学への貢献に対して、1957年にthe University of Edinburghより理学博士を授与されています。

鉱物を中心とする熱分析についてのご研究は、モノグラフ“The Differential Thermal Investigation of Clays”、UK Mineralogical Soc. (1957)や、“Differential Thermal Analysis Vol.I. Vol.II”、Academic Press (1970, 1972)など多くの出版物、130を優に超えるとうかがっている論文、総説などにまとめられました。とくに前者のモノグラフは、その後40年以上も英国鉱物学会から頒布され続けられるなど、博士の著書は長年にわたって、世界中の研究者に利用されてきました。かく言う著者も本稿を書いている机の前にある書棚に、これらの書籍が不可欠の文献として並んでいます。

博士は熱測定の分野では、ICTA (現在のICTAC, 国際熱測定連合)の創設と発展への多大なご貢献で世界的に知られております。博士は1965年に開催された最初の国際熱分析会議(Aberdeen)の運営から、その後発展して1968年のICTA設立に関われ、ICTAの会計(1965~1980)、命名委員会委員長(1965~1982)、標準化委員会書記(1966~1972)、ICTAC NewsとThermal Analysis Abstractsの編集委員長や編集幹事を歴任されました。さらに、熱分析や粘土鉱物学に関わるご貢献としては、The Royal Society of ChemistryのThermal Methods Group最初の委員長



(1965~1967)と選任委員(1994まで)、Association Internationale pour l'Etude des Argiles (AIPEA)の命名委員会委員長(1958~1966)と会長(1978~1981)、また英国のThe Clay Minerals Groupの書記(1949~1956)、会長(1972~1975)と1959年から会誌“Clay Minerals Bulletin”(現在の“Clay Minerals”)の編集に携わるなど、数多くの国際的な科学組織、学会の組織・運営に関わってこられました。また、熱分析研究で早期にロシアの研究者と交流されるなど国際的なご活躍は、博士の明るいお人柄と言語に対する鋭い感性のたまものとうかがっております。

本年コペンハーゲンで開催されたICTACでは、博士のご貢献に対してMackenzie記念基金の設立とこの基金による毎回の記念講演の実施が決められたと聞きました。ここに、博士の多大なご功績に敬服の意を表わすと共に、心からご冥福をお祈り申し上げる次第です。

(早稲田大学理工学部 山崎淳司)

追記：上記のMackenzie記念基金(Mackenzie Memorial Fund)は基本的にICTACが拠出しますが、寄付も受けております。ご関心のある方は下記までご連絡ください。クレジットカードでも送金できると思います。

問合せおよび送金先：

Prof. Patrick K. Gallagher, ICTAC Treasurer
409 South Court Way, Salem, SC 29676 USA
E-mail: p-k-gallagher@attworldnet.com